

令和5年4月12日

## デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

株式会社 CoToFu

### 1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

#### A) 労働生産性の向上

最新のデジタル技術（高速画像解析・X線検査の高品質化によって診断が容易になる・電気メスの自動出力調整・高周波数によって止血作業が容易になる・術後管理の自動最適化）を活用することで、診察時間が大幅に短縮され、院内の労働生産性を向上させます。

#### B) 見える化の推進

DR装置や歯科用X線装置はこれまで不十分な画像精度で視覚的に把握できなかったペットの生体内の状況を、デジタル技術により飼い主様に目で見て理解していただくことが可能になります。より理解をして頂いた上での治療を進めることで、インフォームドコンセントを徹底します。

#### C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術により術中の作業を自動化することで、人為ミスがなくなり、安全性が向上します。

### 2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「DX推進による治療困難な診療科の深化と取り扱いが少ない診療科の拡充」

DX化を推進することで、治療困難な診療科（腫瘍科・循環器科）と取り扱いが少ない診療科（歯科）の深化・拡充を達成し、対応不可な症例が発生してしまう不十分な体制を解決することが、これらの診療科に自信のある当院のミッションです。

### 3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 腫瘍科・循環器科・歯科疾患以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

令和5年4月12日

#### 4. 戦略推進のための組織体制

